

学校評議員会議事録

日 時	令和元年 6 月 19 日 (水) 10 時 00 分 ~ 11 時 45 分		
会 場	北海道新篠津高等養護学校 校長室		
出 席 者	学校評議員 5 名	学校側 4 名	
出席者名	磯 貝 隆 之 今 田 義 春 上 田 マリ 黒 壁 修 佐 藤 喜 子	日 向 正 明 (校 長) 佐 伯 正 文 (副校長) 越 田 淳 (教 頭) 田 島 敏 明 (事務長)	
校長が意見を求めた事項	内 容		
学校経営方針等の説明 授業参観・校内見学 意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校経営方針及び重点について (校長) ・ 学校の概況について (副校長・事務長) ・ 教育活動について (副校長) ・ 卒業生進路状況について (教頭) 		
<input type="checkbox"/> 進路指導について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職する生徒が増えてきている。その一方で卒業後、年数が経つと離職リスクが増加する。離職したときの備えも必要である。 		
<input type="checkbox"/> 検定等の取組状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校として取り組んでいる検定は、漢字検定のみである。 ・ 商業高校から転入してきた先生がいる学校では、簿記等をしているケースもある。 		
<input type="checkbox"/> 言語環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級目標の掲示で抽象的な言葉を使っていたが、生徒がその言葉を理解しているかを把握して使う必要がある。 ・ 学習の振り返りなども含めて、経験の中で自分の言葉が入っていくことが大事である。 		
<input type="checkbox"/> ICT の利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットの使用は、札幌市立みなみの杜高等支援学校の取組が進んでいる。作業のときの手順などがタブレットに入っていて、生徒自身で今日の作業はこれだからこうするなどを、自分たちで考え合う実践例がある。 		
上記のとおり会議を開催した。			
令和元年 6 月 19 日 北海道新篠津高等養護学校長 日 向 正 明			